

世界に羽ばたける人材へ！



県立国際中学校・高等学校が **近畿初！** 「国際バカロレア」に認定されました

県立国際高等学校が令和7年10月3日に、国際バカロレアDP(ディプロマ・プログラム)認定校となりました。令和6年12月には、中学校が近畿の公立中学校で初のMYP(ミドル・イヤーズ・プログラム)認定校となっており、MYPとDPの両方の認定を受けている中学校・高等学校は私立も含めて近畿初となります。県立としては、全国で3校目のMYP・DP認定校となりました。



国際バカロレア(IB)プログラムについて

国際バカロレア機構(本部ジュネーブ)が提供する国際的な教育プログラムのことです。日本では、文部科学省が2018年から国内での普及を進めているプログラムで、知識の獲得だけでなく、それらを活用し、自ら問いを立て、答えを導き出していく探究型の学びを重視したプログラムです。学び方を学び、生涯に渡って学び続ける姿勢を育みます。DPでは、所定のカリキュラムを2年間履修し、世界共通の最終試験を経て所定の成績を収めると、国際的に認められる大学入学資格(国際バカロレア資格)を取得できます。この資格を活用して、国内大学や海外大学への進学が可能となります。より詳しい情報は、国際バカロレア機構または文部科学省IB教育推進コンソーシアムHPをご覧ください。



国際バカロレア機構



文部科学省
IB教育推進コンソーシアム

県立国際中学校・高等学校でのプログラムについて



国際中学校・高等学校では、中学1年生から高校1年生までのすべての生徒にMYPを4年間実施します。このたび認定を受けたDPについては、令和8年度より「DPコース」を選択した生徒に対して高校1年生の11月から2年間実施します。「DPコース」では、一部の科目(英語、数学、ESS(環境システムと社会)の3科目)の授業を英語で行います。IBでは、教室での学びを実社会に結び付ける場として、奉仕活動も重視しています。主に放課後や休日に、生徒が自分で計画し実行しています。

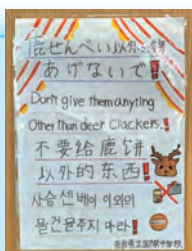
IBの使命にある「より良い平和な世界」の実現に向けて、国際中学校・高等学校では、社会で起こっていることに目を向けて、自分の考えを深め、他者と協働しながら、より良い未来をつくる力を育てています。より詳しい情報は、国際中学校・高等学校のHPをご覧ください。



国際中学校
高等学校

奈良公園でのSA(社会奉仕活動)

中学1年生が、校外学習での気付きから奈良公園でゴミ拾い活動を実施した際に、外国人観光客が多い奈良公園周辺では多言語での注意喚起が効果的ではないかと考えポスターを作成しました。ポスターは奈良公園バスターミナルに掲示しています。



日韓交流イベントに世界のダンス部が出演

多様な文化の理解と尊重の精神を育むため、国際交流にも力を入れています。「世界のダンス部」は、日韓音楽交流イベントで、韓国の高校と合同でパフォーマンスを行い、異文化理解を深めました。

